

# 道

2018・4・25

通信 No 1484



本日は小坂先生の練習

5月2日の練習は中山先生。

## 私の50年歩んだ軌跡

小林 俊雄

わたしは歌う事が大好きです。団員歴は合わせて13年目になりますが、入団以来、「道」の団員として誇りをもって歌っています。学生時代に混声合唱団「世界民研」に所属してロシア民謡を中心に欧米の民謡等も歌って来ました。卒業後、民間会社に入社し若手中心に同好会「コークブラザーズ」を結成し、会社のイベント等で当時流行のムードコーラス、ハワイアン等を歌っていました。

入社後30年経過した頃からでロシア民謡等を歌っている合唱団を捜していた所、情報誌に合唱団「道」の団員募集の記事があり、さっそく1989年秋に応募して入団しました。

T-1として1年半経過し、その頃は会社が忙しく練習への参加率は、50%ぐらいでしたが、それでも若い頃に歌ったノスタルジックなロシアの歌「鶴」、「すばらしい未来」、「アムール川の波」等の哀愁を帯びた勇壮なメロディーの魅力とそして合唱団「道」のハーモニーの美しさに惹かれ始めた頃、1991年春に会社から沖縄転勤を命ぜられ当時団員の故松下さんなどに相談して休団の形で後ろ髪を惹かれる思いで沖縄に行きました。

沖縄社にはトップとして着任し、この5年余りの沖縄勤務は自分の人生にとって意義ある沢山の収穫を得る事が出来ました。その頃、東京の親会社から復帰の命があり復帰後は新会社設立プロジェクトに携わりました。暫らくの間、社用に追われ余り歌う機会もなく経過していましたが毎年、松下さんからコンサートのお知らせと「道」への復帰の誘いを頂きました。その熱心さに惹かれて、休団してから約10年経過後、T-1に復帰させて頂きました。皆さんから暖かく迎えられた事は今も忘れません。会社引退後「道」に復帰してから11年余りになりますが今は毎回の練習に充実感で満たされております。

64歳で会社を引退し、自分のこれからの人生の生き方を考えてみた時、新たに心を入れ替え未来に向けて回りの人達から信頼され生きがいのある人生を送りたいと考え、マンションに居住を機会に、その問題として考えられるのは不動産関係の国家資格を持ち居住者達の相談に乗る事ができれば、と思いその不動産の国家資格に3年間余り、挑戦し3つの資格を獲得することができました。若い頃に頭をあまり使わず高齢になって古くなった頭を使いすぎたせいなのか、1昨年春には、右脳頸動脈狭窄症でバイパスの大手術を受けましたが、大きな後遺症もなく無事生還することができました。これも「道」の団員の皆様の心からの励まし、とヴォイストレーニングで鍛えた腹筋と、あのきつい病院のリハビリに一生懸命に耐えた結果では？と思います。

合唱団「道」が創立50周年目を迎えるにあたって団員の減少の傾向に以前から私は危機感を覚えています、いままでも執行部は団員募集の手を緩めた訳ではなくそれなりの手は打ってきたと思います。もちろんこれからもこの危機感をもって私達は団員増加に力を注ぎ、地道に「道」の理念に基づき日々、研鑽を重ねていきたいと思ひます。

### 先週練習日迄のチケット入金状況

(担当 市原さん)

S1 143枚 S2 98枚 A 149枚

T 137枚 B 130枚 事務局 14枚

合計671枚

(目標1400枚 引き続きご健闘お願いします。)

今後の会議等予定 サポートセンター

4月27日(金)3時30～ ホール 打ち合わせ

5月2日(水)2時30～ 運営委員会

※ アコの森先生が練習参加されます。

今日の片づけはソプラノとバスです